

2024年
7月17日

おてもやん通信

第6号

くまもと水土里ネット女性の会の情報や活動を発信中!

水土里マルシェ

くまもと「水土里マルシェ」を開催しました



令和5年11月3日（金祝）水土里ネット熊本の屋外スペースにおいて第3回「くまもと水土里マルシェ」を開催しました。当日は天候にも恵まれ、多数の地域住民及び土地改良関係の皆様にご来場いただきました。

マルシェでは、県内各地の新米や新鮮な野菜・果物の販売を行い、県内4地域の新米食べ比べやジビエスープ等の試食を行ったほか、学習コーナーでは水土里ネットの役割、「田んぼダム」の取り組みや世界かんがい施設遺産のPRを行いました。

また、今回は初めて、女性の会会員デザインによるノベルティグッズを配布したり、ワークショップとして、落ち葉アートを行いました。子どもたちや保護者の方々も楽しそうに参加されていました。

この「水土里マルシェ」は、女性の会が主体となって取り組む活動の一つとして今後も継続して参ります。

出品物等にご協力いただいた皆様やご来場いただいた皆様、ありがとうございました！



収穫ボランティア活動 in 山鹿

女性の会では、地域の人手不足に悩む農家への支援や、女性の会の会員が農業への理解や地域との繋がり等、それぞれの活動に活かせるヒントを得ることを目的として、令和5年度から「収穫ボランティア活動」を行うこととしました。

第一弾として、令和5年8月24日（木）に山鹿土地改良区の小林理事が栽培されているワイン用ブドウの収穫支援に15名

が参加しました。

猛暑の中、汗だくになりながら、収穫から出荷準備までをお手伝いし、女性の会会員にとってはとても貴重な体験をさせていただきました。また、人手不足の農家の方々には大変喜ばれ、とても有意義な時間となりました。

今後、他の地域でもこのような収穫ボランティアの活動を通じて農業農村に関する理解を深めていきたいと思っています。



「水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno」



全国初となる本大会は令和5年9月27（水）～28日（木）に秋田県鹿角市で開催されました。

今大会は、男女共同参画をそれぞれの地域において推進し、新時代にふさわしい土地改良区の創造を図ることを目的として、参加者が一堂に会して男女共同参画の意義をより一層深めると共に、先進事例等を学ぶことで個々のスキルアップを図るものです。

式典では、全国水土里ネット女性の会の根本会長による主催者挨拶に始まり、農林水産省農村政策部長の佐藤氏より「土地改良区の未来を拓く多様な人材の活躍に向けて」という基調講演が行われました。「女性が農村での暮らしにプラスを見出す仕組みや、女性が活躍可能な環境づくりには、意識改革が重要であり、これは男性にとっても必ずプラスに働くということを知って欲しい」と佐藤氏の経験を踏まえたお話を頂きました。

続いて「男女共同参画推進社会を実現するためには」をテーマにパネルディスカッションが行われました。「土地改良区」自体の知名度の低さや、女性が活躍できる土地改良区という職場・農村社会の環境づくりの必要性について活発な意見交換がなされました。

2日目は、由右衛門果樹園の田中氏とレディースファーム代表の米田氏とで「女性たちがより豊かに、そして輝ける場所を求めて」のテーマに沿ってトーク講演が行われ、男性社会での苦勞を乗り越え、女性が活躍できる場所を作りあげたことについてのお話をいただきました。

「やまぐち水土里ネット女性の会」視察研修会



令和6年3月6日（水）に、やまぐち水土里ネット女性の会による視察研修が熊本で行われました。

熊本と山口の女性の会での活動をそれぞれが紹介した後、両県女性の会関係者による意見交換を行いました。

また、山口県は土地改良区が主となり活動をされているため、今後の連携強化や相互の活動についても検討しています。

研修終了後には意見交換会を開催し、交流を深めることとなりました。

令和6年度の予定

- 7月17日 R6くまもと水土里ネット 女性の会通常総会
- 7月～9月 収穫体験（ボランティア）予定
- 11月2日 くまもと水土里マルシェ
- 12月ごろ 視察研修会 ※ 日程調整中

「さが水土里ネット女性の会」研修会



令和5年9月13日（水）に佐賀市の『グランデはがくれ』にて、さが水土里ネット女性の会研修会が開催されました。

熊本県から講師として田尻会長と事務局（西）が参加し、熊本における女性の会活動事例報告を行いました。参加者からは、「熊本の活動が大変参考になった。」「女性の会が主催するマルシェにぜひ参加したい」などの声が聞かれました。

10年後の水土里ネットを考える

近畿女性交流会



令和6年2月20日（火）に京都ガーデンパレスで近畿農政局が主催となり開催された本会は、近畿管内の府県や県土連、土地改良区等の業務や運営に関わる女性職員を対象に、相互の課題の共有・解決に向けた取り組みを話し合い、参加者同士のつながりを強化することなどを目的に開催されました。

全国や熊本での取り組みの紹介、グループワークのコーディネーターとして、全国水土里ネット女性の会の西副会長と熊本県から徳永主幹の2名が参加し、女性参加者は40名、近畿農政局関係者等を含めて53名が集いました。

参加者は全国や熊本の取り組みを熱心に聞かれ、グループトークでは時間が足りなくなる程の意見交換があり、地域は異なるものの、抱える課題や取り巻く環境はあまり変わらないことを再認識し、主体的に取り組む自ら発信する場を作ることが大事なのだと感じる機会となりました。